

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Application of:

Shigeru SUGAWARA

Application. No.: to be assigned

Filed: April 20, 2004

:
:
:
:
:
:
:

Group Art Unit: to be assigned

Examiner: to be assigned

Title: CONJURING TOOL FOR PERFORMING COIN INCREASING TRICK

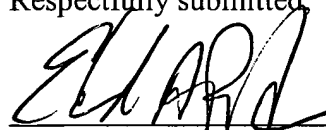
CLAIM FOR PRIORITY

Commissioner for Patents
P.O. Box 1450
Alexandria, Virginia 22313-1450

Sir:

A certified copy of corresponding Japanese Application No. 2003-137469, filed May 15, 2003 is attached. It is requested that the right of priority provided by 35 U.S.C. 119 be extended by the U.S. Patent and Trademark Office.

Respectfully submitted,



Date: April 20, 2004

Edward A. Pennington, Reg. No. 32,588
Swidler Berlin Shereff Friedman, LLP
3000 K Street, NW, Suite 300
Washington, DC 20007-5116
Telephone: (202) 424-7500
Facsimile: (202) 295-8478

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日
Date of Application: 2003年 5月15日

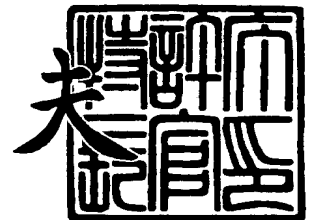
出願番号
Application Number: 特願2003-137469
[ST. 10/C]: [JP 2003-137469]

出願人
Applicant(s): 株式会社テンヨー

2004年 4月 5日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今井康夫



出証番号 出証特2004-3027791

【書類名】 特許願

【整理番号】 P15045

【提出日】 平成15年 5月15日

【あて先】 特許庁長官殿

【ブルーフの要否】 要

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都江東区千石 2 - 8 - 1 1 株式会社 テンヨー内

 【氏名】 菅原 茂

【特許出願人】

 【識別番号】 391010529

 【氏名又は名称】 株式会社 テンヨー

【代理人】

 【識別番号】 110000073

 【氏名又は名称】 特許業務法人 プロテック

 【代表者】 秋本 正実

 【電話番号】 03-3583-4414

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 153292

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

【書類名】 明細書

【発明の名称】 コイン増加トリック手品具

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 略直方体形状で且つ中空状の本体ケースと、当該本体ケースの一方の開口部であるコイン収納口を塞ぐ収納口閉じ蓋と、を有し、

前記本体ケースの内部は、仕切板によって、当該仕切板と前記コイン収納口との間にコインを上下方向に積み重ねた状態で予め収納しておくためのコイン収納部と、当該仕切板と他方の開口部であるコイン投入口との間に操作中にコインを投入するためのコイン投入部とに二分され、

前記仕切板は、前記本体ケースの上壁の内面に固設され、且つ前記仕切板の下端と本体ケースの下壁との間には、前記コイン収納部に収納されたコインが一枚ずつ前記コイン投入部に移動可能なスリットが設けられている

ことを特徴とするコイン増加トリック手品具。

【請求項 2】 前記コイン投入部内における本体ケースの下壁には、前記コイン収納部から当該コイン投入部へ移動したコインを停止させるための段差を形成するコインストッパーが、前記スリットから当該段差までの間隔がコインの直径と同じもしくは若干大きいサイズ分となるように設けられていることを特徴とする請求項 1 に記載のコイン増加トリック手品具。

【請求項 3】 前記コイン収納部内には、一端が本体ケースの上壁に固着され、且つ他端には、収納したコインを押圧するための押圧板が備えられたバネが、上下方向に伸縮自在に設けられ、コインが前記押圧板を介して前記本体ケースの下壁に押圧された状態で収納されるように構成されていることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載のコイン増加トリック手品具。

【請求項 4】 前記収納口閉じ蓋は、操作中に前記コイン収納口から外れないように、前記コイン収納口にて本体ケースと係合可能な構造となっていることを特徴とする請求項 1 から 3 の何れかに記載のコイン増加トリック手品具。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、コインを使った手品具であって、特に箱の中に収容したコインの枚数が箱の中で次々と増加していくという錯覚を観覧者に与えることのできるコイン増加トリック手品具に関するものである。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

従来、コインを用いる手品具は種々あるが、例えば手品を行う者（以下、操作者という）が箱の中にコインを収容して箱の蓋を一端閉じた後にこの箱の蓋を開けると、コインの枚数が収容時の枚数から変化しているという手品を行う為の手品具としては、例えば次の先行技術文献に記載の発明がある。

【0 0 0 3】

【特許文献 1】

特許第 2 5 6 5 6 6 1 号公報

【0 0 0 4】

【発明が解決しようとする課題】

ここで、上記先行技術文献に記載の発明は、例えば 2 枚のコインが 1 枚に半減するといったコインの半減トリック手品具に関するものであり、コインの枚数が減少するという錯覚を与える手品を行うためのものであるが、これに対し、コインの枚数が箱の中で増加するという錯覚を与える手品を行う為の手品具であって、構造が簡単であり且つ操作も簡単に行えるものは、今までに存在しなかった。特に、箱の中にコインを収容して箱の蓋を一端閉じた後にこの箱の蓋を開けるという操作を繰り返して行うことによってコインの枚数が収容時の枚数から次々と増加していくといった手品を行える手品具は存在しなかった。

【0 0 0 5】

そこで本発明の目的は、箱の中にコインを収容して箱の蓋を一端閉じた後にこの箱の蓋を開けるという操作を繰り返して行うことにより、コインの枚数が収容時の枚数から次々と増加していくという錯覚を与える手品を行う為のものであって、構造が簡単であり且つ操作も簡単に行えるコイン増加トリック手品具を提供することにある。

【0 0 0 6】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明のコイン増加トリック手品具は、略直方体形状で且つ中空状の本体ケースと、当該本体ケースの一方の開口部であるコイン収納口を塞ぐ収納口閉じ蓋と、を有し、前記本体ケースの内部は、仕切板によって、当該仕切板と前記コイン収納口との間にコインを上下方向に積み重ねた状態で予め収納しておくためのコイン収納部と、当該仕切板と他方の開口部であるコイン投入口との間に操作中にコインを投入するためのコイン投入部とに二分され、前記仕切板は、前記本体ケースの上壁の内面に固設され、且つ前記仕切板の下端と本体ケースの下壁との間には、前記コイン収納部に収納されたコインが一枚ずつ前記コイン投入部に移動可能なスリットが設けられているものである。

【0 0 0 7】**【発明の実施の形態】**

以下、本発明の一実施形態に係るコイン増加トリック手品具について、図面を参照して説明する。

【0 0 0 8】**【コイン増加トリック手品具の構成】**

まず、本実施形態に係るコイン増加トリック手品具 1 の構成を図 1 及び図 2 を参照して説明する。本実施形態に係るコイン増加トリック手品具 1 は、左右両面が開口した中空状の本体ケース 2 と、この両面を塞ぐ 2 つの蓋 3, 4 とから構成されている。そして、前記本体ケース 2 は略直方体形状であり、この本体ケース 2 の内部には、本体ケース 2 内をケースの長手方向に二分する仕切板 5 が設けられている。

【0 0 0 9】

前記仕切板 5 は、図 1 に示すように、当該本体ケース 2 の開口部の内の一方から、コインの直径と同じもしくは若干大きいサイズ分だけケース内側の位置に、この一方の開口部の面と略平行に設けられている。そしてこのように仕切板 5 が設けられることによって、開口部の内の一方（以下、コイン収納口 6 a という）側のコイン収納部 6 と、他方（以下、コイン投入口 7 a という）側のコイン投入部 7 とに本体ケース 2 内が二分され、前記コイン収納部 6 に後述の如くコインを

上下方向に積み重ねた状態で予め収納しておくことができるようになる。

【0010】

また、前記仕切板 5 は本体ケース 2 の上壁の内面に固設されており、さらに仕切板 5 の下端と本体ケース 2 の下壁との間には、前記コイン収納部 6 に収納されたコイン 20 を前記コイン投入部 7 に一枚ずつ移動可能にするスリット 5 a が設けられている。よって、このスリット 5 a の上下方向の幅は、コイン収納部 6 に収納するコイン 20 の内で最も厚いコインの厚さよりも若干大きいサイズに設定されていれば良く、最大でもコイン 2 枚分の厚さよりも小さいサイズでなければならない。

【0011】

そして、前記コイン収納部 6 内には、上下方向に伸縮自在のバネ 8 の一端が図 1 のように本体ケース 2 の上壁に固着されており、且つ当該バネ 8 の他端には、収納したコイン 20 を押圧するための押圧板 9 が備えられている。このような構成により、コイン 20 は押圧板 9 と本体ケース 2 の下壁との間の空間に収納されることとなる。

【0012】

さらに、前記コイン投入部 7 内における本体ケース 2 の下壁には、前記コイン収納部 6 から当該コイン投入部 7 へ移動したコイン 20 を停止させるための段差 10 a を形成するコインストッパー 10 が設けられている。また、この段差 10 a と前記スリット 5 a との間には、コイン 20 の直径と同じもしくは若干大きいサイズ分だけの間隔が設けられている。

【0013】

尚、本実施形態における 2 つの蓋の内、コイン収納口 6 a を塞ぐ蓋 4 の形状を板状とし、コイン投入口 7 a を塞ぐ蓋 3 と異なる形状としておくことで、操作者は後述の如くコイン 20 a を本体ケース 2 内に投入する側の蓋 3 を区別することができるようになる。またこの板状蓋 4 は、操作中に当該板状蓋 4 が外れないように、コイン収納口 6 a において本体ケース 2 と係合可能な構造となっている。

【0014】

[コイン増加トリック手品具の操作手順]

次に、上述のような構成のコイン増加トリック手品具 1 を用いた手品の操作手順の一例を、図 3 および図 4 を参照して説明する。

【0 0 1 5】

まず手品を始める前に、操作者は、板状蓋 4 を開けて本体ケース 2 のコイン収納部 6 内に図 3 のように複数枚の同種のコイン 2 0 を収納し、板状蓋 4 でコイン収納口 6 a を塞いでおく。このとき、収納されたコイン 2 0 はバネ 8 により押圧板 9 を介して本体ケース 2 の下壁に押圧された状態で収納されている。

【0 0 1 6】

そして、操作者は上述のようにコイン 2 0 を収納した本体ケース 2 を把持して蓋 3 を取り、収納したものと同種のコイン 2 0 a を 1 枚だけコイン投入口 7 a から本体ケース内 2 に投入する。そして、コイン投入後に蓋 3 を閉め、この蓋 3 を指で押さえた状態で本体ケース 2 を把持し、ケース長手方向（図 3 の矢印方向）に振る。このとき、本体ケース 2 の下壁（すなわち、スリット 5 a が存在する側）を下側にした状態で本体ケース 2 を振らなければならない。

【0 0 1 7】

このようにして本体ケース 2 を振ると、コイン収納部 6 に収納されていたコイン 2 0 の内、一番下に収納されている 1 枚のコイン 2 0 が、スリット 5 a を通ってコイン収納部 6 からコイン投入部 7 へ移動する。そして、このコイン 2 0 はコインストッパー 1 0 により形成された段差 1 0 a によって移動が停止し、本体ケース 2 の内部は図 4 のような状態となる。このとき、コイン収納部 6 内に残ったコイン 2 0 は、バネ 8 により押圧板 9 を介して本体ケース 2 の下壁に押圧された状態で収納されている。また、これらコイン 2 0 の内の一番下に位置したコイン 2 0 は、段差 1 0 a によって停止しているコイン 2 0 によって、スリット 5 a からコイン投入部 7 側への移動が妨げられるため、操作者によって本体ケース 2 が上述の如く振られても、相当激しく振られない限りは新たにコイン 2 0 がコイン投入部 7 側へ移動してくることはない。

【0 0 1 8】

そして上記操作の後、操作者が本体ケース 2 を上下方向にも振る等して、移動したコイン 2 0 をコインストッパー 1 0 の段差 1 0 a から外し、しかる後に蓋 3

を開け、コイン投入口 7 a が下側に来るように本体ケース 2 を傾けると、コイン投入口 7 a から投入したコイン 20 a と、コイン収納部 6 からコイン投入部 7 へ移動してきたコイン 20 とが本体ケース 2 から出てくることになる。こうして観覧者には、1 枚だけコイン 20 a を入れたはずが、本体ケース 2 の中で一枚増加して 2 枚のコインが出てきたという錯覚を与えることができるようになる。

【0019】

また、コイン収納部 6 に予め多数のコイン 20 を収納しておいた状態で、上記操作に続けて、2 枚のコインを再びコイン投入口 7 a から投入し、蓋 3 を閉めてから本体ケース 2 をケース長手方向に振るといった上述の一連の操作を繰り返すことにより、今度は 2 枚のコインが 3 枚になって本体ケース 2 から出てくることになる。以上のように、本実施形態に係るコイン増加トリック手品具 1 によれば、前記本体ケース 2 の中でコインが 1 枚ずつ恰も増加しているかのような不思議さを観覧者に与えることができる。

【0020】

[第二実施形態]

また上記第一実施形態では、同種のコインが一枚ずつ増加していくような錯覚を観覧者に与える操作を行っているが、本体ケース 2 を振る操作を激しく行うことにより、同種のコインが倍増していくというような錯覚を観覧者に与えることもできる。例えば、2 枚のコインを投入した後に、コイン収納部 6 からコイン投入部 7 へのコイン移動操作と、移動したコインを段差 10 a から外す操作とを二回繰り返し行うことで、蓋を開けて本体ケース 2 を傾けると 4 枚のコインが出てくることとなるため、観覧者には、2 枚のコインが 4 枚に倍増したという錯覚を与えることができる。

【0021】

[第三実施形態]

また、上記第一及び第二実施形態では同種のコインを用いているが、異種のコインを混ぜてコイン収納部に収納しておき、各種コインが次々に増加していくような錯覚を与えることもできる。

【0022】

例えば、コインをコイン収納部 6 内に一番下から 1 0 円玉 1 枚、5 0 円玉 1 枚、さらに 1 0 0 円玉 1 枚といった具合に予め収納しておき、まず操作者は 1 0 円玉を 1 枚コイン投入部 7 へ投入して上述の如き操作を行うことにより、1 0 円玉が 2 枚に増加する。続いて操作者が 5 0 円玉 1 枚を投入して同様の操作を行い、さらに 1 0 0 円玉 1 枚を投入して同様の操作を行えば、1 0 円玉のみならず 5 0 円玉や 1 0 0 円玉も次々と 2 枚に増加する。

【0 0 2 3】

以上のように、異種のコインを混ぜて収納する場合には、操作者が異種コインの収納した順番を予め覚えておき、その順番に従って対応する種類のコインを投入していけば、各種コインが次々と増加していくといった新たな錯覚を観覧者に与えることができるようになる。

【0 0 2 4】

尚、上記各実施形態において用いられるコイン増加トリック手品具 1 において、予め収納可能なコインの枚数を増加させるには、本体ケースの高さ（上下方向のサイズ）を任意に大きくすれば良い。また、上記各実施形態ではコイン投入口を蓋で塞いで上記操作を行っているが、特に蓋を用いずとも、操作者が直に指でコイン投入口を塞いで上記操作を行うようにしても良い。

【0 0 2 5】

【発明の効果】

以上に述べたように、本発明のコイン増加トリック手品具によれば、箱の中にコインを収容して箱の蓋を一端閉じた後にこの箱の蓋を開けるという操作を繰り返して行うことにより、コインの枚数が収容時の枚数から次々と増加していくという不可思議さを観覧者に与えることができる。さらに、本発明のコイン増加トリック手品具は、構造が簡単であり且つ操作も簡単に行えるため、熟練したテクニックがない子供でも、本発明のコイン増加トリック手品具を用いて容易に手品を行うことができるといった利点もある。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の一実施形態に係るコイン増加トリック手品具の構成部品を示す断面図

である。

【図 2】

図 1 のコイン増加トリック手品具の構成部品を示す斜視図である。

【図 3】

本実施形態のコイン増加トリック手品具に予めコインが収納された状態を示す図である。

【図 4】

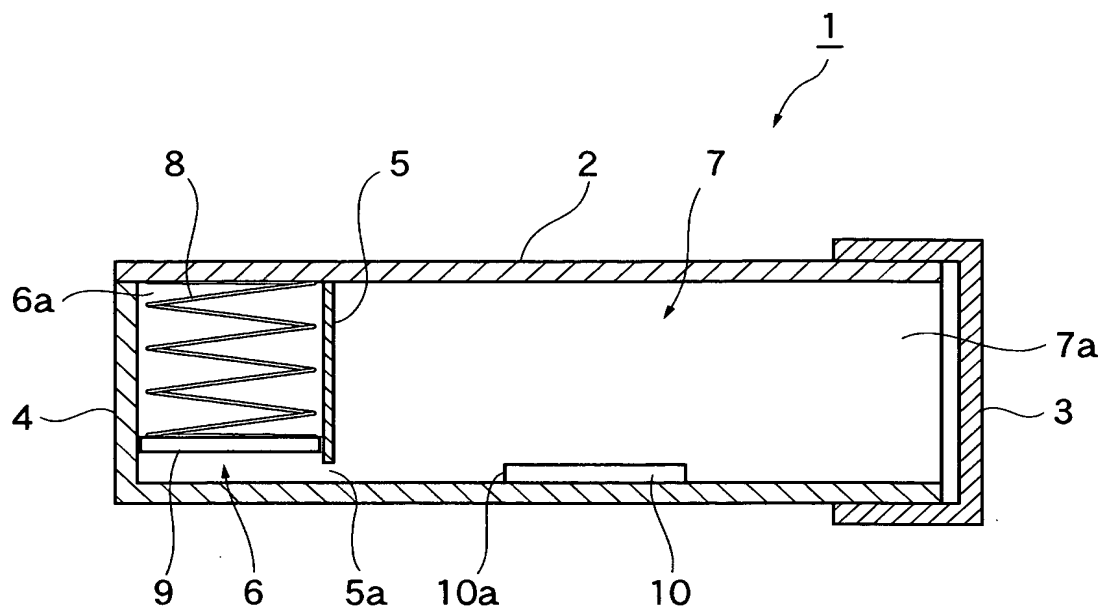
図 3 の状態の後に操作者がコインを投入してから本体ケースを振る操作を行った後の本体ケース内の状態を説明するための図である。

【符号の説明】

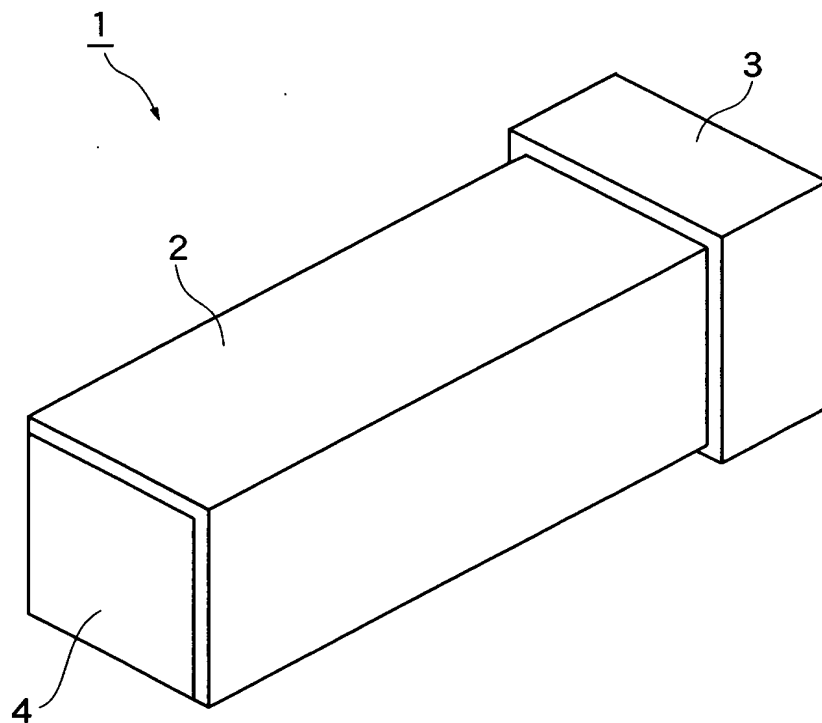
1…コイン増加トリック手品具、2…本体ケース、3…蓋、4…板状蓋、5…仕切板、5 a…スリット、6…コイン収納部、6 a…コイン収納口、7…コイン投入部、7 a…コイン投入口、8…バネ、9…押圧板、10…コインストッパー、10 a…段差、20…コイン（収納したコイン）、20 a…投入したコイン。

【書類名】 図面

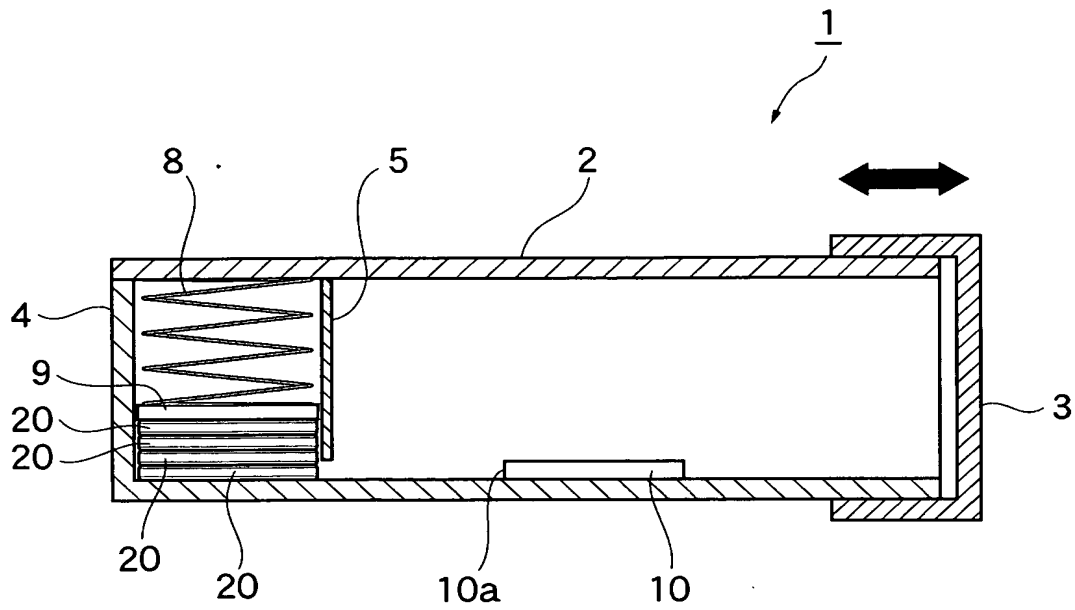
【図 1】



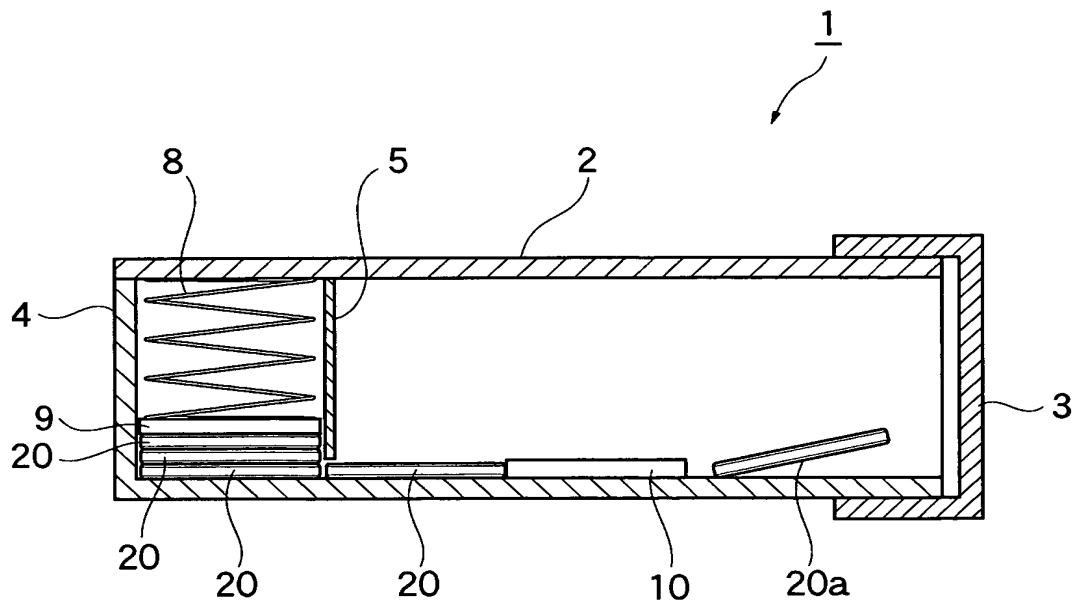
【図 2】



【図 3】



【図 4】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 構造が簡単で且つ操作が簡単である手品具を提供すること。

【解決手段】 本体ケース 2 内部は、仕切板 5 によって、コイン 2 0 を上下方向に積み重ねた状態で予め収納しておくためのコイン収納部 6 と、操作中にコイン 2 0 a を投入するためのコイン投入部 7 とに二分され、前記仕切板 5 は、前記本体ケース 2 の上壁の内面に固設され、且つ前記仕切板 5 の下端と本体ケース 2 の下壁との間には、前記コイン収納部 6 に収納されたコイン 2 0 が一枚ずつ前記コイン投入部 7 に移動可能なスリット 5 a が設けられている。

【選択図】 図 1

特願 2 0 0 3 - 1 3 7 4 6 9

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [3 9 1 0 1 0 5 2 9]

1. 変更年月日	1 9 9 6 年 1 2 月 1 8 日
[変更理由]	住所変更
住 所	東京都江東区千石 2 丁目 8 番 1 1 号
氏 名	株式会社テンヨー